

事業報告書(研修概要報告書)

学校名	鹿児島市立天保山中学校	職名	教諭	氏名	脇田 武志 印
研究主題	激変する進路状況に対応するキャリア教育と進路指導のあり方について				
日程	月 日	主 な 内 容			
	7月25日	16:00 鹿児島空港出発			
	7月26日	9:30 ~ ・開会式 10:10 ~ 11:10 ・記念講演 千葉商科大学 鹿嶋研之助先生 13:00 ~ 16:00 ・分科会「小・中学校における 夢と希望を育てる指導の計画と実践」			
	7月27日	9:00 ~ 9:30 ・受付 9:30 ~ 11:50 ・全体会「小・中学校における 進路指導上の諸問題とその解決」 13:00 ~ 16:00 ・全体協議会「進路指導研究の課題とその推進」 16:00 ~ 16:06 ・閉会式 19:30 羽田空港発 21:00 鹿児島空港着			
研修内容	<p>進路指導研究協議全国大会に参加し、進路指導（キャリア教育）について研修を深める。</p> <p>1) 記念講演「わが国におけるキャリア教育の実践」、分科会「小・中学校における夢と希望を育てる指導の計画と実践」に参加し、自校の進路指導（キャリア教育）に役立てる。</p> <p>2) 全体会「小・中学校における進路指導上の諸問題とその解決」と全体研究協議「進路指導研究の課題とその推進」に参加し、自校の進路指導（キャリア教育）に役立てる。</p>				
所見	<p>記念講演では、キャリア教育の歴史・意義、今後の課題が具体的に話があり、本校でも校内研修が必要なことはもちろん、11月に県進路指導研究会の会場校にもなっているのでキャリア教育の視点をもった取り組み（職員の意識改革）が必要であると感じました。</p> <p>分科会では、小学校の道徳を基盤とした進路指導について、中学校からは地域との関わりを通しての進路指導についての実践報告があった。自分がキャリア教育について理解が浅かったことを認識した。また、自分はこれまで学級活動の中だけでの実践しか行っていなかったが、分科会に参加して、これからのキャリア教育は全教育活動で相互補完的に実践しないといけないことや中学校だけでやるものではなく、幼稚園から高校・大学・就職するまで連続した教育が必要なのだということを実感しました。</p> <p>全体会・全体研究協議では、「移行支援」「評価」の2つのポイントで実践発表、ディスカッションが行われました。中学校の場合だと小学校から中学校へ移行の時、そして高校等の上級学校へ移行する時の支援がとても大切だということがわかりました。特に、高校等へは送り出したがその後は知らないというのではなく、高校等と連携をとり、不応はあこしてないかなどの「追指導」が必要だということを再認識しました。</p> <p>2日間を通して、キャリア教育の必要性を痛切に感じました。本校で、まずできることは何か？ 努力が必要なことは何か？ 課題は何か？ などを考え、キャリア教育を意識して今後教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。</p>				

平成17年度国内研修派遣の実績報告書

学校番号	17	学校名	鹿児島市立天保山中学校	校長氏名	山下 誠 印
------	----	-----	-------------	------	--------

職名	氏名	研究領域	担当学年・担当教科
教諭	脇田 武志 印	進路指導	1～3年，技術・家庭
研究テーマ	激変する進路状況に対応するキャリア教育と進路指導のあり方について		
研修場所（派遣先）	国立オリンピック記念 青少年総合センター	実践研修期間	平成17年7月28日～ 平成17年12月18日

主な研修内容	<p>進路指導研究協議全国大会に参加し，進路指導（キャリア教育）について研修を深める。</p> <p>1）記念講演「わが国におけるキャリア教育の実践」，分科会「小・中学校における夢と希望を育てる指導の計画と実践」に参加し，自校の進路指導（キャリア教育）に役立てる。</p> <p>2）全体会「小・中学校における進路指導上の諸問題とその解決」と全体研究協議「進路指導研究の課題とその推進」に参加し，自校の進路指導（キャリア教育）に役立てる。</p>
--------	---

校内での実践内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣後、上記の研修内容（特にキャリア教育について）を本校職員に報告。 ・ 平成17年11月16日（水）に行われた県進路指導研究大会実施の際、派遣時の研修内容を生かし、授業者へのアドバイス・公開授業等の準備を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 8月19日 校内研修（学年別分科会） 公開授業・学級活動 第1回指導案検討 8月29日 校内研修（学年別分科会） 公開授業・学級活動 第2回指導案検討 9月初旬 進路アンケート実施（全校） 9月～11月初め 公開授業についてアドバイス 11月 7日 公開授業事前授業・授業研究（各学年） 11月14日 公開授業用指導案集製本 11月15日 公開授業模擬授業・最終確認（各学年） 11月16日 県進路指導研究大会（県内各地より約90名参加） 11月20日 公開授業の様子を本校ホームページに掲載（写真・指導案資料等）
----------	---

実践の成果と課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年11月の県進路指導研究会に向けて、キャリア教育の視点をもった取り組み（職員の意識改革）の第1歩を踏み出すことができた。公開授業指導案検討・模擬授業など全職員が協力し、大会を成功させることができた。 ・ 派遣後、職場体験学習を実施したが、キャリア教育の視点を意識した指導ができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校は進路指導に関する様々な実践を行っているが、キャリア教育を意識し、全教育活動で相互補完的に実践しない面がある。また、中学校だけでやるものではなく、幼稚園から高校・大学・就職するまで連続した教育を意識して実施する必要がある。 ・ 「移行支援」「評価」の観点から、小学校から中学校へ移行の時、そして高校等の上級学校へ移行する時の支援を全職員で行う必要がある。特に、高校等へは送り出したがその後は知らないというのではなく、高校等と連携をとり、不対応はおこしていないかなどの「追指導」が必要である。 ・ 本校で、まずできることは何か？ 努力が必要なことは何か？などを考え、キャリア教育を意識して今後教育活動に取り組んでいく必要がある。
----------	--